

# 2024年3月期 投資家向け説明会

2024年5月13日  
ソフトバンクグループ株式会社



## 免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」([https://group.softbank/ir/investors/management\\_policy/risk\\_factor](https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor)) をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

## 商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

## 重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i) SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii) SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やLINEヤフー株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券と同様に適用されます。

## 本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited（以下「SBGA」）、SB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社（以下併せて「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」）、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」）及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」）を含みます。

SBファンド（ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつかの要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。

## 本資料における為替換算レート

(円)

期中平均レート	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	FY22/Q4	FY23/Q1	FY23/Q2	FY23/Q3	FY23/Q4
1米ドル	129.04	138.68	141.16	133.26	138.11	145.44	147.00	147.87
期末レート	2022/6月末	2022/9月末	2022/12月末	2023/3月末	2023/6月末	2023/9月末	2023/12月末	2024/3月末
1米ドル				133.53				151.41

## 略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。なお、企業名から「株式会社」や「(株)」を省略している箇所がある。

略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SB Northstar	SB Northstar LP
SVF1 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド1	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SVF2 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド2	SoftBank Vision Fund II-2 L.P.
LatAmファンド または ラテンアメリカ・ファンド	SBLA Latin America Fund LLC
SVF	SVF1、SVF2およびLatAmファンド
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
SBGA	SB Global Advisers Limited
Arm または アーム	Arm Holdings plcまたはArm Limited*
Sprint	Sprint Corporation
Tモバイル	Sprintと合併後のT-Mobile US, Inc.
ドイツテレコム	Deutsche Telekom AG
アリババ	Alibaba Group Holding Limited

\* 2023年8月にArm Limitedの子会社であったArm Holdings LimitedがArm Limitedの発行済普通株式の全てを取得し、同社を完全子会社化する組織再編が行われた。その後、Arm Holdings Limitedは社名をArm Holdings plcに変更し、2023年9月14日に新規株式公開でNasdaq Global Select Marketへ上場。

## その他

本資料において端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がある。

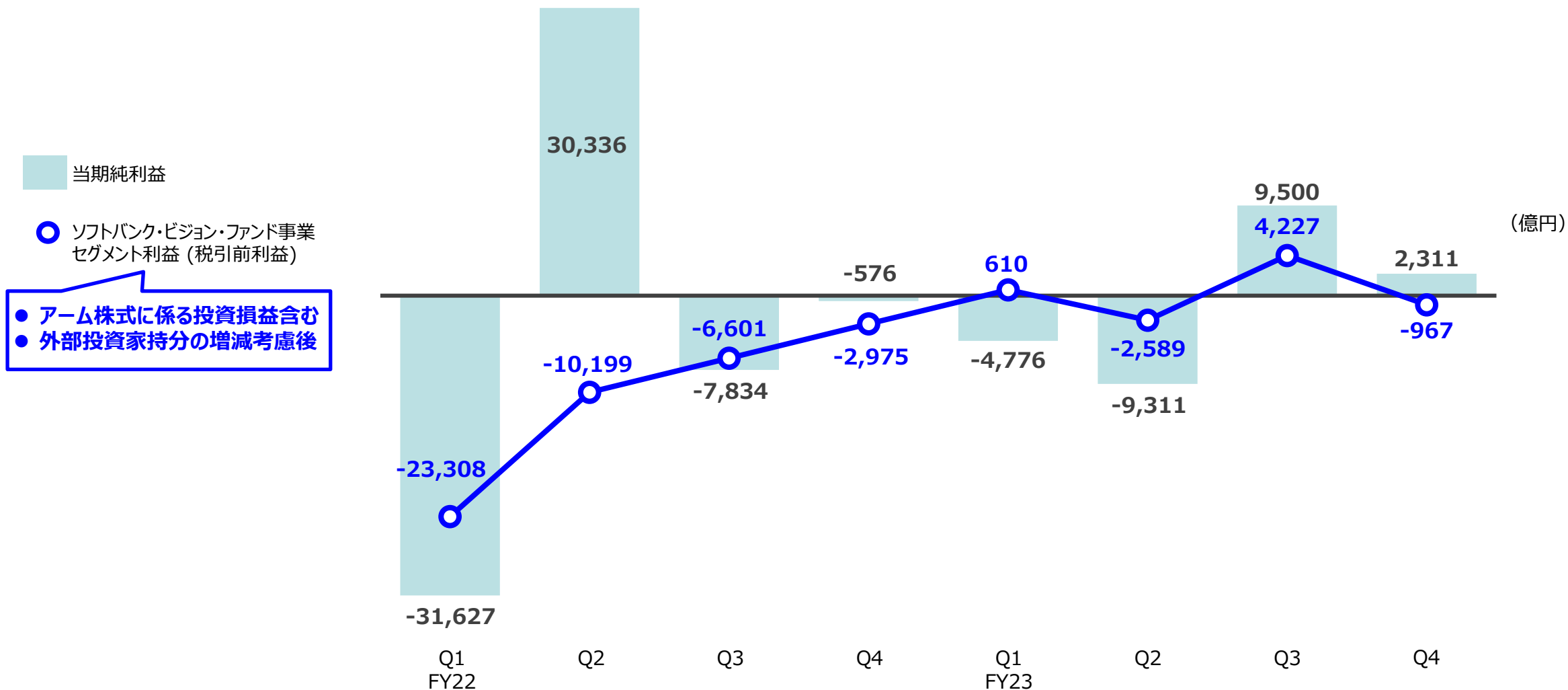
# 經理編

# 連結業績概況

(億円)	FY22	FY23	増減額	増減率
売上高	65,704	67,565	+1,861	+2.8%
税引前利益	-4,691	578	+5,269	—
当期純利益 (親会社所有者帰属分)	-9,701	-2,276	+7,425	—
(参考)				
投資損益合計	-8,351	-5,594	+2,757	—
持株会社投資事業	45,605	-4,590	-50,195	—
ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業	-53,223	-1,673 <small>(セグメント情報との 差異はp10参照)</small>	+51,550	—
その他	-733	670	+1,403	—

アームやSBKKなどの当社子会社は連結されるため、株式の公正価値の変動は連結P/Lに計上せず

# 当期純利益およびソフトバンク・ビジョン・ファンド事業セグメント利益



アームやSBKKなどの当社子会社は連結されるため、株式の公正価値の変動は連結P/Lに計上せず

(億円)

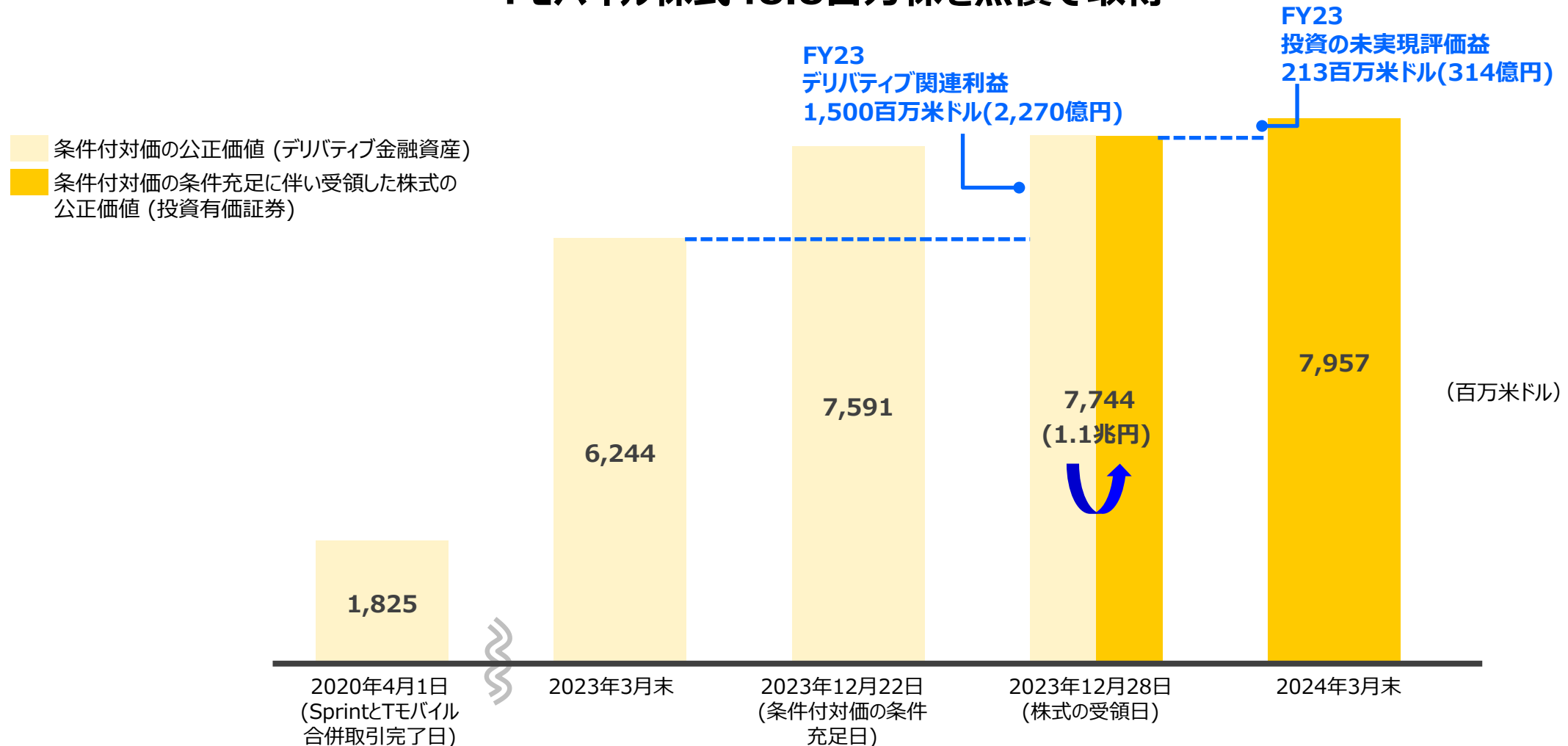
P/L項目	FY22	FY23	FY23摘要
<b>持株会社投資事業からの投資損益</b>	<b>45,606</b>	<b>-4,590</b>	
アリババ株式先渡売買契約決済益	48,383	—	
Tモバイル株式売却関連損益	248	—	
資産運用子会社からの投資の実現損益	-740	-904	
資産運用子会社からの投資の未実現評価損益	-671	127	
資産運用子会社からの投資に係るデリバティブ関連損益	-51	-8	
投資の実現損益	-2,356	-384	アリババ株式を活用した先渡売買契約の現物決済に伴う実現損失 -468億円 ←
投資の未実現評価損益	-1,442	-6,116	・Tモバイルの株価上昇に伴う同株式に係る公正価値の増加 +1,545億円 ・アリババの株価下落に伴う同株式に係る公正価値の減少 -9,132億円 ←
当期計上額	-1,324	-6,474	
過年度計上額のうち実現損益への振替額	-118	358	
投資に係るデリバティブ関連損益	2,055	2,261	Tモバイル株式に係る条件付対価の公正価値の増加 +2,270億円 (詳細はp5-6参照)
為替換算影響額	—	65	
その他	179	369	
販売費及び一般管理費	-738	-893	
財務費用	-3,985	-4,738	・SBGと資金調達を行う100%子会社の支払利息 -4,030億円 ・2023年8月に行ったSVF1からのアーム株式の取得の対価のうち未払金に係る償却原価 -674億円 (連結上消去)
為替差損益	-7,721	-7,034	円安の影響 (詳細はp24-25参照)
持分法による投資損益	-228	19	
デリバティブ関連損益 (投資損益を除く) 主にアリババ株式の先渡売買契約の影響	657	15,000	アリババ株式の先渡売買契約に係るデリバティブ関連利益 1兆5,174億円 ←
その他の損益	-92	1,261	
<b>セグメント利益 (税引前利益)</b>	<b>33,498</b>	<b>-975</b>	

# 条件付対価の条件充足に伴うTモバイル株式の無償取得

**条件付対価**  
(SprintとTモバイル合併対価の一部)

45日間の出来高加重平均 $\geq$ \$149.35の条件を2023年12月22日に充足

## Tモバイル株式48.8百万株を無償で取得





# Tモバイル株式：当社所有株式数および公正価値

(ドイツテレコム保有のコールオプション未行使分を含む)

## FY23末時点の所有Tモバイル株式数：92.1百万株 (FY22末より+52.3百万株)

- 2023年6月に不確定価額受領権(CVR)が確定し、Tモバイル株式3.6百万株を受領
- 2023年12月に条件付対価の条件充足に伴うTモバイル株式48.8百万株を受領

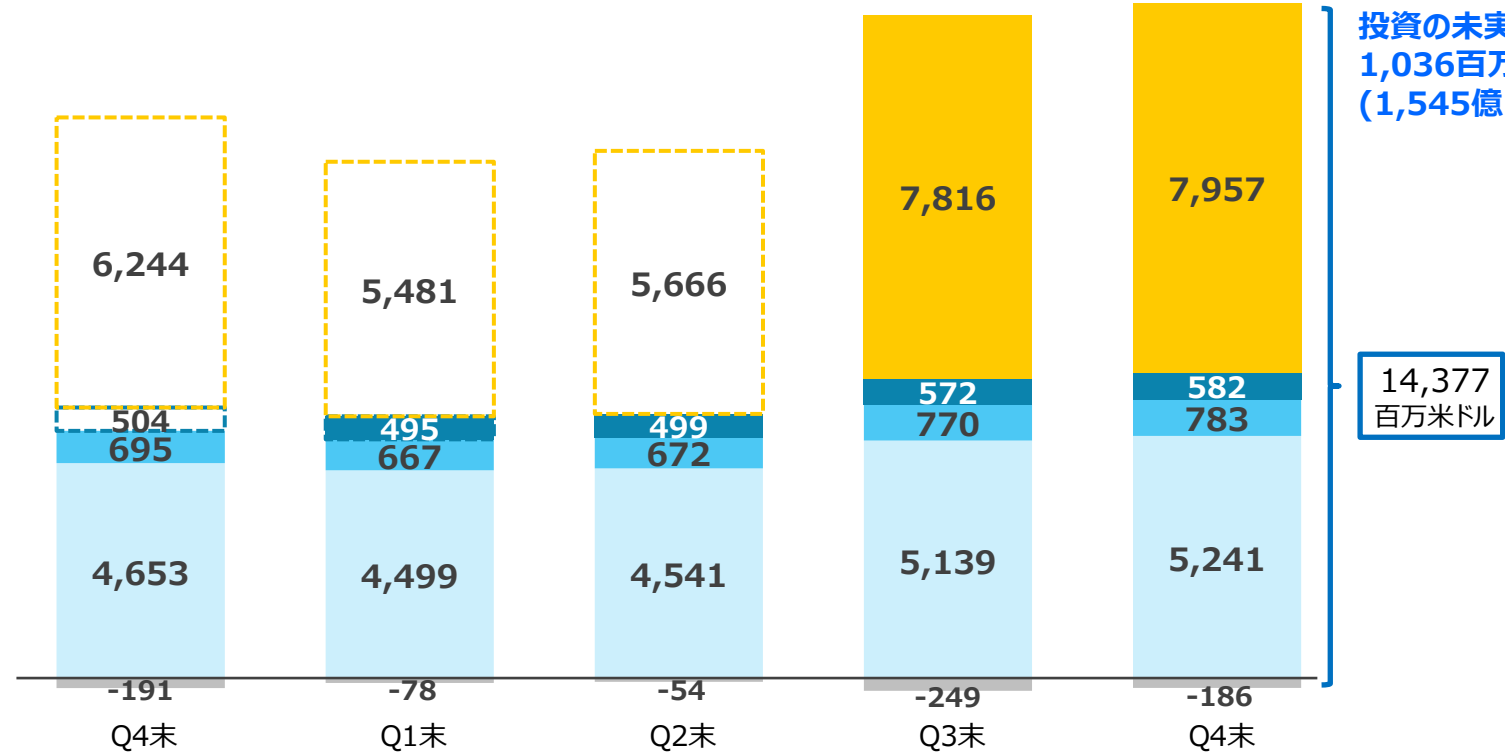
### Tモバイル株価



FY23  
投資の未実現評価益  
1,036百万米ドル  
(1,545億円)

### Tモバイル株式公正価値 (百万米ドル)

- (i) Tモバイル株式 (コールオプション未行使分)  
(デリバティブ金融負債\*1の公正価値控除後)
- (ii) Tモバイル株式 (オプション対象外)
- (iii) CVR確定に伴い受領したTモバイル株式  
(オプション対象外)
- (iv) 条件付対価の条件充足に伴い受領した  
Tモバイル株式 (オプション対象外)
- (v) Tモバイル株式を活用した株式先渡し売買契約  
(カラー契約)\*2に係るデリバティブ金融負債
- CVR公正価値
- 条件付対価公正価値



14,377  
百万米ドル

(百万株)

ドイツテレコム保有コールオプション*3対象株数	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0 <sup>*4</sup>
同オプション対象外株数	4.8	8.3	8.3	57.1	57.1
<b>合計</b>	<b>39.8</b>	<b>43.3</b>	<b>43.3</b>	<b>92.1</b>	<b>92.1</b>

+48.8百万株

\*1 コールオプション未行使分に係るデリバティブ金融負債

\*2 FY23末において24.8百万株が対象

\*3 本オプションは、早期終了をもたらす一定の事象が発生しない限り、2024年6月22日に行使期限が到来する。

\*4 固定：6.7百万株、変動：28.2百万株

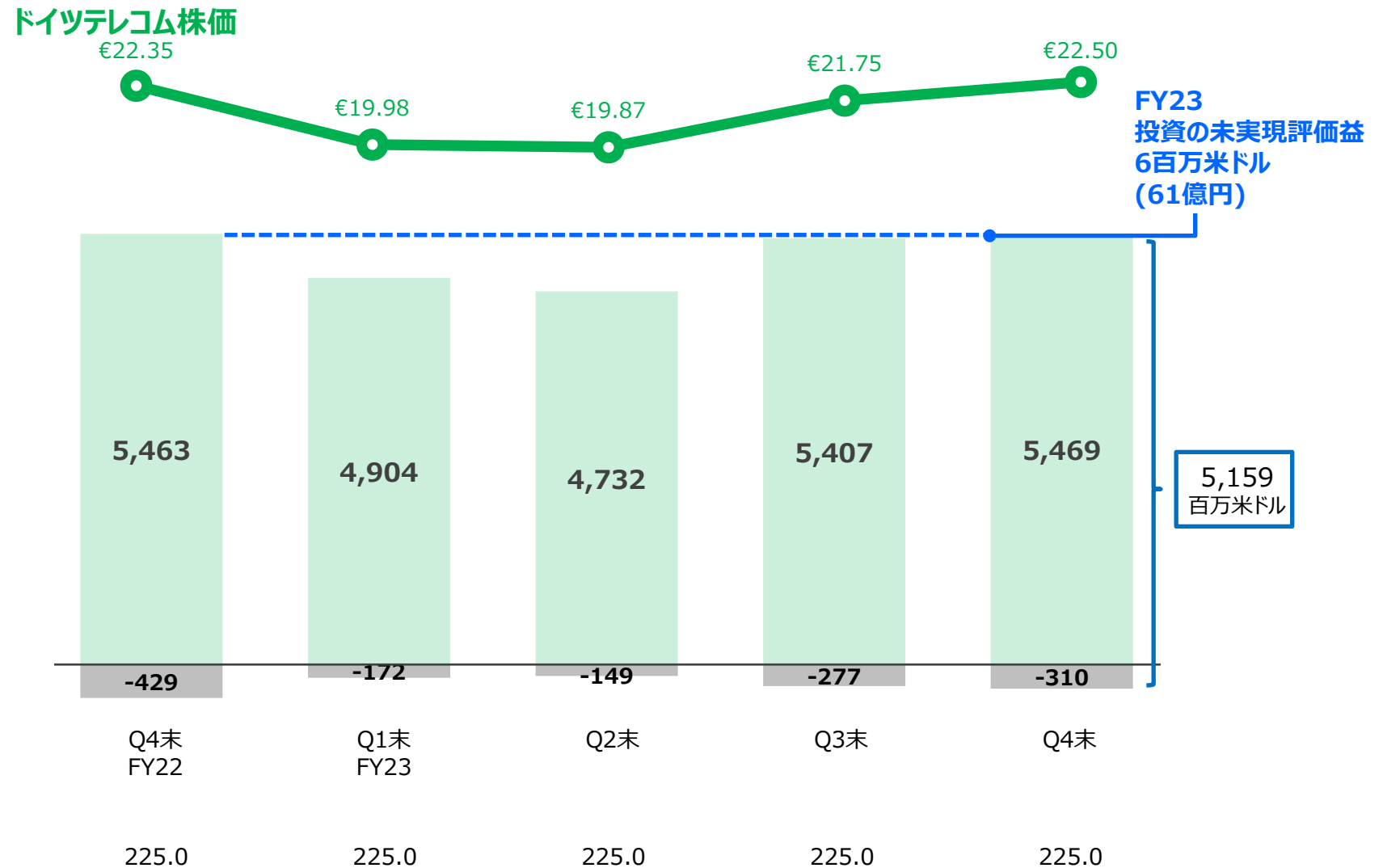
# ドイツテレコム株式：当社所有株式数および公正価値

## 2021年9月、ドイツテレコム株式 225.0百万株を取得

➤ Tモバイル株式売却の対価として

### ドイツテレコム株式公正価値 (百万米ドル)

- (i) ドイツテレコム株式
- (ii) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引\*  
に係るデリバティブ金融負債






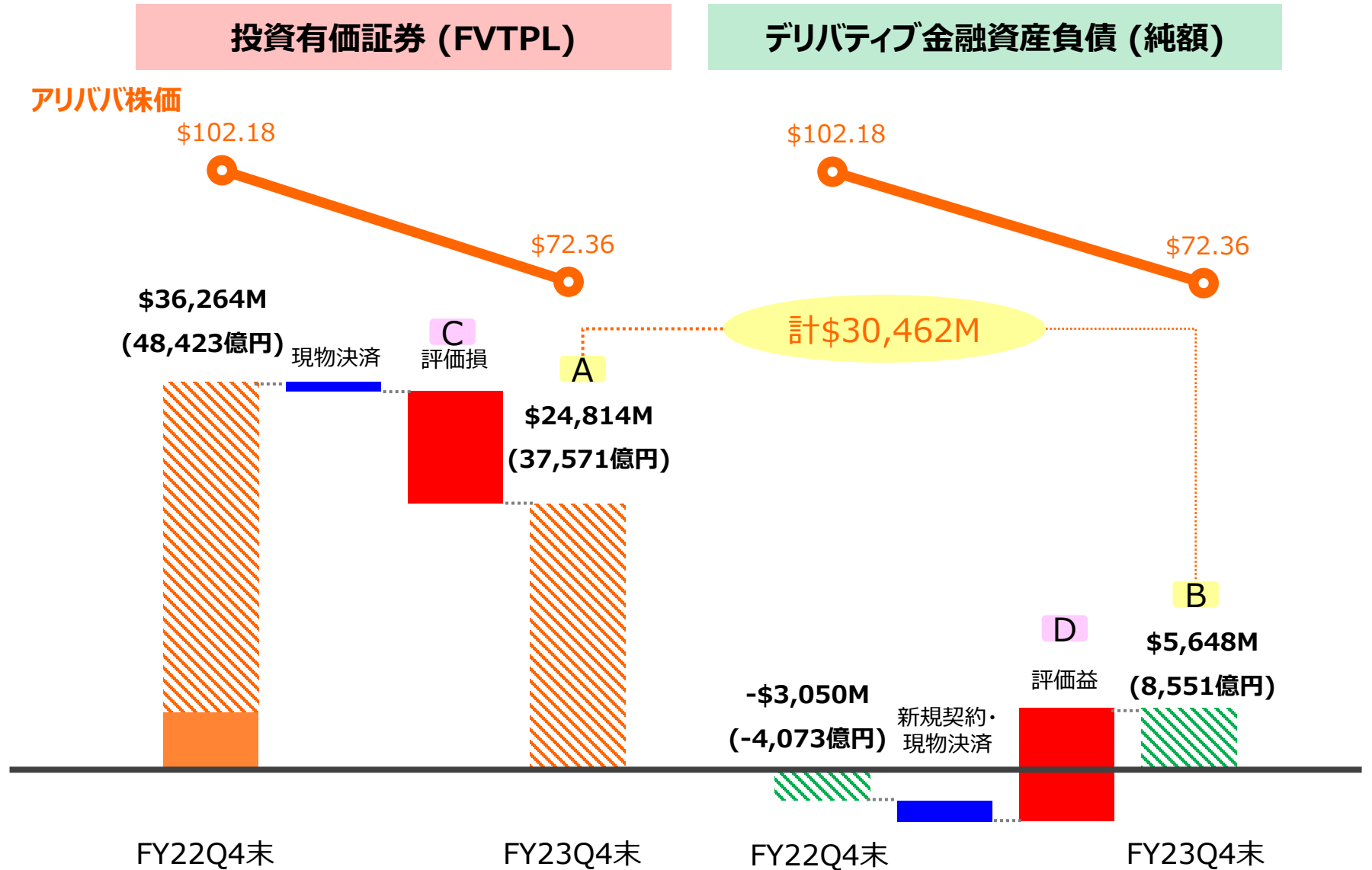
\* 225百万株が対象

# アリババ株式とデリバティブ金融資産負債：B/S計上額

先渡し売買契約考慮後の  
アリババ株式B/S計上額  
30,462百万米ドル  
( A + B )

株式評価損( C )のうち、  
株式先渡し売買契約に使用  
している株式に係る評  
価損はデリバティブ評価  
益( D )とほぼオフセット

-  アリババ株式  
(株式先渡し売買契約に使用分)
-  アリババ株式
-  デリバティブ金融資産負債 (純額)



(億円)

P/L項目	FY22	FY23	FY23摘要
<b>SVF事業からの投資損益</b>	<b>-52,795</b>	<b>7,243</b>	FY23連結P/LのSVF事業からの投資損益は-1,673億円 (詳細はp10参照)
<b>SVF1、SVF2およびLatAmファンドからの投資損益</b>	<b>-52,985</b>	<b>6,963</b>	<b>SVF1 : 7,689億円、SVF2 : -1,465億円</b> 当社100%子会社へのアーム株式の売却による投資利益8,073億円を含む
投資の実現損益*	786	9,844	SVF1 : 1兆722億円、SVF2 : -1,112億円
投資の未実現評価損益*	-52,673	-1,448	
当期計上額	-49,786	-1,896	SVF1 : -777億円、SVF2 : -1,785億円
過年度計上額のうち実現損益への振替額	-2,887	448	SVF1 : -388億円、SVF2 : 992億円
投資先からの利息及び配当金	15	217	
投資に係るデリバティブ関連損益	145	-73	
為替換算影響額	-1,259	-1,576	未実現評価損益と実現損益の換算に使用する為替レートの差により生じた金額
<b>その他の投資損益</b>	<b>190</b>	<b>281</b>	
販売費及び一般管理費	-660	-850	
財務費用	-812	-743	
デリバティブ関連損益 (投資損益を除く)	9	—	
SVFにおける外部投資家持分の増減額	11,279	-3,901	
その他の損益	-105	-467	
<b>セグメント利益 (税引前利益)</b>	<b>-43,083</b>	<b>1,282</b>	

\* 純額で表示。

# セグメント情報と連結P/Lの差異

- ① ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業（セグメント情報）の「SVF事業からの投資損益」には、**子会社（主にアーム、PayPay）を含む**投資損益が計上されるが、子会社に係る投資損益は、連結調整で消去され、連結P/Lの「SVF事業からの投資損益」には含まれない
- ② 一方で、「SVFにおける外部投資家持分の増減額」は、外部投資家の持分のため、連結調整なし

(億円)

	(セグメント情報) ソフトバンク・ビジョン・ ファンド事業	調整額	連結P/L
①SVF事業からの投資損益	7,243	-8,916	-1,673
子会社等に係る投資損益	8,916	-8,916	-
うち、アーム株式に係る投資損益	8,073	-8,073	-
子会社等以外に係る投資損益	-1,673	-	-1,673
②SVFにおける 外部投資家持分の増減額	-3,901	-	-3,901

# (参考) SVF1&2投資の状況

(十億米ドル)

	活動開始来累計			FY23*1	
	投資額*2	リターン*2	損益	Q4 損益計上額	YTD 損益計上額
<b>SVF1</b>	<b>89.6</b>	<b>106.3</b>	<b>16.7</b>	<b>0.0</b>	<b>5.3</b>
エグジットした投資	38.0	64.1	26.1	0.4	7.3
エグジット前の投資	51.6	39.9	-11.7	-0.1	-0.6
FY23にエグジットした投資の未実現評価損益過去計上額の振替				-0.2	-1.4
デリバティブ/受取利息/配当金	-0.0	2.3	2.3	-0.1	-0.0
<b>SVF2</b>	<b>52.4</b>	<b>33.1</b>	<b>-19.3</b>	<b>-0.3</b>	<b>-1.0</b>
エグジットした投資	3.0	3.4	0.4	-0.2	-0.7
エグジット前の投資	49.4	29.9	-19.5	-0.3	-1.2
FY23にエグジットした投資の未実現評価損益過去計上額の振替				0.2	0.8
デリバティブ/受取利息/配当金	-0.0	-0.2	-0.2	0.0	0.1

\*1 「エグジットした投資」のFY23損益計上額は、当該投資のエグジット金額から投資額を差し引いた金額。過年度またはFY23Q3までに計上した当該投資に係る未実現評価損益については、「FY23にエグジットした投資の未実現評価損益過去計上額の振替」に表示している。

\*2 投資額は、デリバティブについてはデリバティブ原価を表す。リターンは、エグジットした投資についてはエグジット金額を、エグジット前の投資については公正価値を、デリバティブについては既決済契約の決済額または未決済契約の公正価値を、受取利息または配当金については各受領額を指す。

# WeWorkに対する投資および財務サポートの状況（累計）

(百万米ドル)

	FY23末までの累計取得価額 (SBG連結ベース)			FY23末までの 投資取得以外に係る キャッシュフロー (マイナスはキャッシュイン)	FY23末までの 累計損益 (SBG連結ベース)	FY23末 帳簿価額
	支払額	引受対価 <sup>*</sup>	債券から株式 への交換			
株式およびワラント	10,901	969	494	—	-12,364	—
債券	2,500	—	-494	(回収) -475	-1,531	—
クレジットサポート (FY23Q2末において最大\$1.43Bの支 払保証枠、FY23Q3に保証を履行済み)	—	969	—	(保証履行) 1,430	-461	—
<b>合計</b>	<b>13,401</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>955</b>	<b>-14,356</b>	<b>—</b>

①

②

## <キャッシュアウト総額>

(百万米ドル)

FY23末までのキャッシュアウト合計 (① + ②)	14,356
<b>合計</b>	<b>14,356</b>

FY23Q3末から変更なし

\* 次の(a)と(b)の合計：(a)レターオブクレジットファシリティに対するクレジットサポートおよび無担保債券の引受義務の対価として受け取った1株当たり0.01米ドルまたは0.02米ドルでWeWork普通株式を取得可能なワラント。当初認識時のワラントの公正価値から行使対価である1百万米ドルを差し引いた867百万米ドルを取得価額として計上。(b)レターオブクレジットファシリティ延長の対価としてFY21Q3に新たに取得したワラント。当初認識時のワラントの公正価値である102百万米ドルを取得価額として計上。

# SBG短信アーム事業とアーム開示値とのブリッジ (FY23業績)

	SBG短信 アーム事業 (IFRS)		調整項目①	調整項目②	調整項目③	アーム 開示値 (US GAAP)		
	¥M	\$M	SBGがアーム買収時 に行った取得原価配 分により計上した無 形資産の償却費	会計基準の差 (IFRS vs US GAAP)	その他	\$M	\$M	
<b>売上高</b>	<b>464,025</b>	<b>3,198</b>	-	-	35 (B)	<b>3,233</b>	<b>Total revenue</b>	
売上原価		-148	-	-7	1	-154	Cost of sales	
営業費用		-3,392	454	-103 (A)	73 (C)	-2,968	Operating expenses	
その他損益		112	-	-13	2	101	Other income/loss	
<b>セグメント利益 (税引前利益)</b>	<b>-33,215</b>	<b>-230</b>	454	-123	111	<b>212</b>	<b>Income (loss) before income taxes</b>	

(A) 主な要因：株式報酬に係る会計処理の違いによる影響

(B) 主な要因：F-1作成時に入手可能な最新の情報をロイヤルティ収入に反映

(C) 主な要因：引当金や株式報酬の計上等についてF-1/6-K作成時に入手可能な最新の情報を反映

(注) 上記の表において売上高を除くセグメント利益の構成要素は、当該ブリッジの目的としてのみ使用



# 連結P/L総括

(億円)

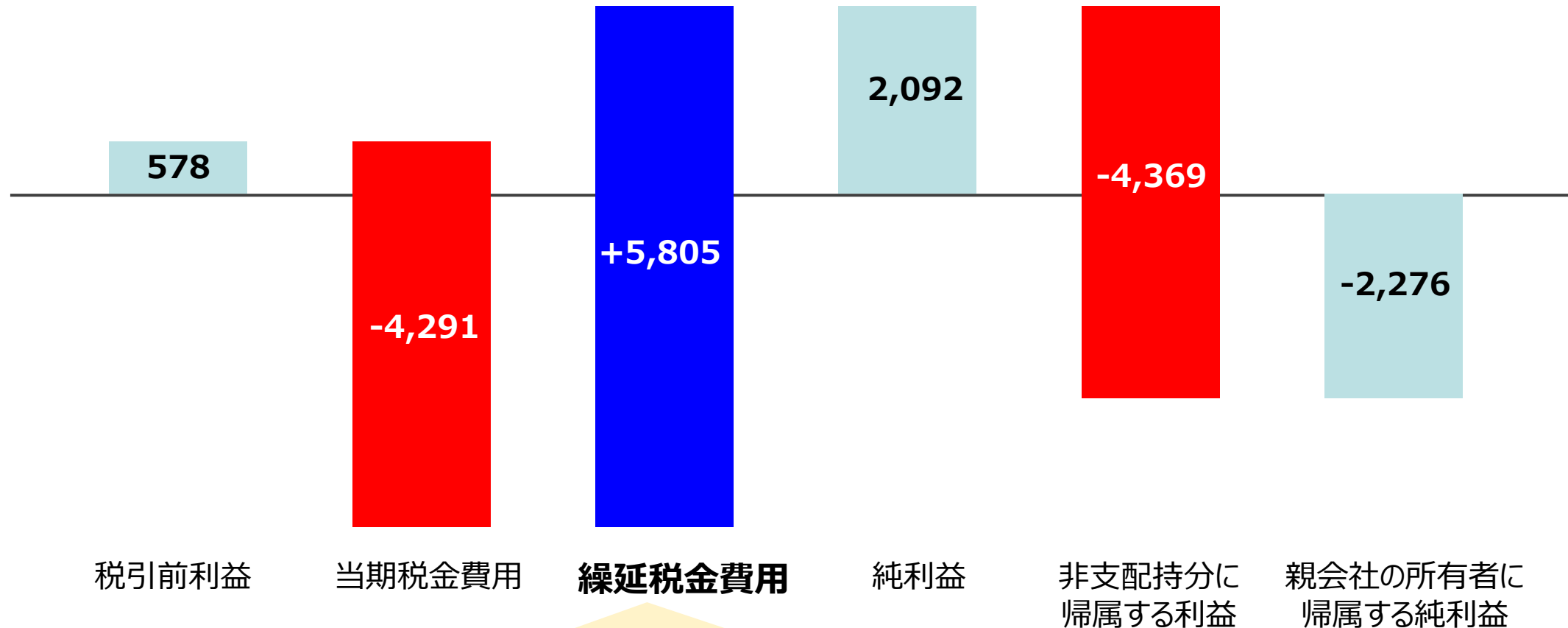
P/L項目	FY22	FY23	増減
売上高	65,704	67,565	+1,861
売上総利益	33,280	35,424	+2,144
投資損益			
持株会社投資事業からの投資損益	45,605	① -4,590	-50,195
SVF事業からの投資損益	-53,223	② -1,673	+51,550
その他の投資損益	-733	③ 670	+1,403
<b>投資損益合計</b>	<b>-8,351</b>	<b>-5,594</b>	<b>+2,757</b>
販売費及び一般管理費	-26,953	-29,824	-2,871
財務費用	-5,559	④ -5,560	-1
為替差損益	-7,723	⑤ -7,031	+691
持分法による投資損益	-967	-386	+580
デリバティブ関連損益 (投資損益を除く)	543	⑥ 15,023	+14,481
SVFにおける外部投資家持分の増減額	11,279	-3,901	-15,181
その他の損益	-241	⑦ 2,427	+2,669
<b>税引前利益</b>	<b>-4,691</b>	<b>578</b>	<b>+5,269</b>
法人所得税	-3,207	⑧ 1,514	+4,721
<b>純利益</b>	<b>-7,898</b>	<b>2,092</b>	<b>+9,990</b>
非支配持分に帰属する利益	-1,803	-4,369	-2,565
<b>親会社の所有者に帰属する純利益</b>	<b>-9,701</b>	<b>-2,276</b>	<b>+7,425</b>

- ① ・Tモバイル株式関連の投資利益：3,711億円  
・アリババ株式に係る実現および未実現評価損失：-9,599億円  
(同株式を利用した先渡売買契約に係るデリバティブ関連利益1兆5,174億円(⑥)で相殺)
- ② SVF1：-386億円、SVF2：-2,306億円、LatAmファンド：739億円、その他：281億円
- ③ 当社100%子会社が2023年7月に取得したSymbotic株式の株価上昇に伴う評価益など
- ④ SBGと資金調達を行う100%子会社の支払利息：-4,030億円
- ⑤ 円安の影響 (詳細はp24-25参照)  
(参考) 為替換算差額の増加額 (連結B/S)：2兆95億円
- ⑥ アリババ株式の先渡売買契約に係るデリバティブ関連利益：1兆5,174億円
- ⑦ ・SBIナジー(株)の支配喪失利益：1,088億円  
・SBGの受取利息：1,309億円
- ⑧ ・SBKKなどの事業会社で当期税金費用4,291億円を計上  
・繰延税金費用を利益方向に5,805億円計上 (詳細はp15参照)

アームやSBKKなどの当社子会社は連結されるため、株式の公正価値の変動は連結P/Lに計上せず

# FY23の税引前利益～親会社の所有者に帰属する純利益

(億円)



主に、当社100%子会社でのアリババ株式を利用した先渡売買契約に関連して、アリババ株式・関連するデリバティブに係る将来の課税見込みに基づきFY22末に計上していた繰延税金負債を、当該先渡売買契約の現物決済の完了に伴い当期に取り崩した影響

(マイナスは費用)

	FY23	
	率 (%)	金額 (億円)
税引前利益		578
法定実効税率	31.5%	-181
(主な税率差異要因)		
①外国関係会社等合算所得	-309.8%	1,791
②永久差異	211.3%	-1,221
③繰延税金資産の回収可能性	-112.8%	652
④外国税額控除	-95.4%	551
⑤持分法投資に係る投資一時差異	63.6%	-367
⑥所在地国課税	-46.8%	271
その他	-3.6%	18
法人税等の負担率	-262.0%	*1,2 1,514

\*1 税金費用のマイナス (利益方向)

\*2 税率差異要因を反映した税金費用

# 繰越欠損金 (2024年3月末現在)

(億円)

	所得ベース	税額ベース	評価性引当金	B/S計上額
国内会社合計	26,116	8,355	-3,101	5,254
海外会社合計	3,622	840	-458	382
連結合計	29,738	9,195	-3,559	5,636

# 連結ベースの法人所得税の支払額（純額）

(億円)

	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23	6年計
<b>連結ベース</b>	<b>4,154</b>	<b>6,363</b>	<b>4,455</b>	<b>5,893</b>	<b>5,259</b>	<b>8,168</b>	<b>34,292</b>
国内	2,843	5,752	3,105	5,512	4,697	7,170	29,079
SBGおよび国内 中間持株会社 (100%子会社)	368	3,247	357	2,000	2,142	4,433	12,547
国内事業会社 (主にSBKK、 LINEヤフー等)	2,475	2,505	2,748	3,512	2,555	2,737	16,532
海外	1,311	611	1,350	381	562	998	5,213

(注)

- ・納税額と還付額の純額を記載。
- ・法人所得税の支払額（連結）は、連結C/Fの「法人所得税の支払額」と「法人所得税の還付額」の純額に一致。
- ・FY18の還付額のうち839億円、FY20の還付額のうち1,211億円はそれぞれ前年度に支払った税金の還付に該当するため前年度の支払額とネットして表示。

# 連結B/S総括 - 1

(億円)

B/S項目	主な科目	2023/3月末	2024/3月末	増減
流動資産		105,865	114,414	+8,549
	現金及び現金同等物	69,252	① 61,869	-7,383
	デリバティブ金融資産	2,494	8,524	② +6,029
	その他の金融資産	3,713	7,780	③ +4,067
	その他の流動資産	2,821	5,510	+2,689
非流動資産		333,499	352,829	+19,330
	有形固定資産	17,811	18,953	+1,141
	のれん	51,995	57,099	④ +5,104
	無形資産	24,096	24,488	+392
	持分法で会計処理されている投資	7,304	8,392	+1,088
	SVFからの投資 (FVTPL)	104,897	110,145	⑤ +5,248
	SVF1	61,105	60,420	-685
	SVF2	36,463	40,969	+4,506
	LatAmファンド	7,329	8,756	+1,427
	投資有価証券	77,065	90,620	⑥ +13,555
	デリバティブ金融資産	11,708	3,855	⑦ -7,853
その他の金融資産	23,036	24,243	+1,207	
資産合計		439,364	467,242	+27,879

- ① SBGおよび資金調達を行う100%子会社等：3兆240億円 (-1兆610億円)
- ② ・アリババ株式先渡売買契約に係るデリバティブ金融資産の増加：+6,441億円  
(一部を現物決済した一方で、同社株価の下落や円安影響に加え、決済日まで1年以内となったデリバティブ金融資産を非流動資産から振り替えたことにより増加)  
・Tモバイル株式に係る不確定価額受領権について、権利確定および同社株式受領により認識を中止 (FY22末残高673億円)
- ③ 資産運用子会社からの投資の増加：+2,597億円 (社債を取得)
- ④ アーム：+4,233億円 (円安の影響)
- ⑤ 期末日の対米ドルの為替換算レートが13.4%円安となったことによる帳簿価額の増加が主な要因  
米ドルベース：  
・SVF1：売却 -52.7億米ドル、公正価値減少 -5.9億米ドル  
・SVF2：投資 +21.4億米ドル、売却 -5.3億米ドル、公正価値減少 -18.3億米ドル  
・LatAmファンド：投資 +0.8億米ドル、売却 -2.6億米ドル、公正価値増加 +4.7億米ドル
- ⑥ 詳細はp20参照
- ⑦ ・Tモバイル株式に係る条件付対価について、同社株式受領に伴い認識を中止 (FY22末残高8,338億円)  
・アリババ株式先渡売買契約に係るデリバティブ金融資産の減少：-1,320億円  
(同社株価の下落や円安影響の一方で、決済日まで1年以内となったデリバティブ金融資産を流動資産へ振り替えたことにより減少)

# 連結B/S 投資有価証券 (主な投資先)

(億円)

	2023/3月末	2024/3月末	増減	摘要
<b>投資有価証券</b>	<b>77,065</b>	<b>90,620</b>	<b>+13,555</b>	
<b>FVTPL</b>	<b>72,443</b>	<b>83,215</b>	<b>+10,772</b>	
アリババ	48,423 \$36,264M	37,571 \$24,814M	-10,852 -\$11,450M	株価下落のほか、同社株式を利用した先渡売買契約の一部を現物決済したことなどに伴い、帳簿価格が減少
Tモバイル	7,692 \$5,761M	22,758 \$15,031M	+15,066 +\$9,270M	条件付対価の条件充足に伴う同社株式48.8百万株 (FY23末残高は1兆2,048億円) の受領や株価上昇により帳簿価格が増加
ドイツテレコム	7,295 \$5,463M	8,280 \$5,469M	+986 +\$6M	株価上昇のほか、円安影響により帳簿価額が増加
Symbotic <sup>*1</sup>	277	1,834	+1,557	\$500M追加投資および株価上昇により、帳簿価額が増加
NVIDIA	390	1,438	+1,048	株価上昇により、帳簿価額が増加
SBKKグループ保有	1,485	1,977	+492	
その他	6,881	9,357	+2,476	
公開銘柄 (計14銘柄 <sup>*2</sup> )	1,191	2,028	+837	New Fortress Energy、Eutelsat、Lemonade等
非公開銘柄 (計約230銘柄)	5,690	7,328	+1,638	Mapbox、Wayve、Boston Dynamics、Telexistence等
<b>FVTOCI等</b>	<b>4,622</b>	<b>7,405</b>	<b>+2,783</b>	PayPay銀行による債券などの資産運用商品の投資の帳簿価額が2,232億円増加 (FY23末残高は5,120億円)

(注) 期末日の対米ドルの為替換算レートが13.4%円安となったことによる帳簿価額の増加を含む。

\*1 SVF2およびSB Northstarが保有するSymbotic株式を除く。

\*2 2024年3月期第2四半期および第3四半期決算 投資家向け説明会資料に記載した2023年9月末および12月末の銘柄数に誤りがありました。正しくは、2023年9月末は17銘柄、同年12月末は15銘柄でした。

# 連結B/S のれん・無形資産の内訳

(億円)

B/S 項目	主な内訳	2023/ 3月末	2024/ 3月末	増減			摘要
				償却費	為替変動	その他	
		<b>51,995</b>	<b>57,099</b>				
*1 のれん	アーム	31,617	35,850	—	+4,233	—	
	SBKK	9,139	9,139	—	—	—	
	LINEヤフー*2	6,474	6,474	—	—	—	
	ZOZO	2,140	2,140	—	—	—	
主な 無形 資産	<b>テクノロジー</b>	<b>3,443</b>	<b>3,590</b>				
	主な 内訳						
	アーム	3,443	3,383	-498	+438	—	定額法 償却年数：8-20年
	<b>顧客基盤</b>	<b>5,993</b>	<b>5,923</b>				
	主な 内訳						
	ZOZO	2,776	2,646	-130	—	—	定額法 償却年数：18-25年
	LINEヤフー	2,041	1,908	-134	—	—	定額法 償却年数：12-18年
アーム	880	843	-149	+111	—	定額法 償却年数：13年	
<b>商標権</b>	<b>5,429</b>	<b>5,530</b>				主に「ZOZOTOWN」、「Yahoo!」（日本における商標権）、「LINE」	

\*1 SBGによる支配獲得時に認識したのれんの金額。支配獲得後に当該子会社が行ったM&Aの結果認識したのれんは含まない。ただし、アームはFY20の組織構造変更の結果、アーム事業に再配分された金額。

\*2 2023年3月末時点の金額はLINEとヤフーの合計であり、2024年3月末時点の金額はLINEヤフーとZ中間グローバルの合計である。2023年10月1日付でZホールディングスを存続会社とし、同社ならびにLINEおよびヤフーを中心としたグループ内再編を完了した。同日をもって、ZホールディングスはLINEヤフーに、LINEはZ中間グローバルに商号変更され、ヤフーは消滅した。



# 連結B/S総括 - 2

(億円)

B/S項目	主な科目	2023/3月末	2024/3月末	増減
流動負債		105,807	140,203	+34,396
	有利子負債	51,290	82,711	+31,421
	リース負債	1,841	1,498	-343
	銀行業の預金	14,723	16,432	+1,709
	営業債務及びその他の債務	24,169	27,105	+2,937
	デリバティブ金融負債	826	1,951	+1,125
	その他の金融負債	1,802	318	-1,484
	未払法人所得税	3,674	1,632	-2,041
	その他の流動負債	6,759	8,013	+1,254
非流動負債		227,064	194,668	-32,397
	有利子負債	143,491	122,964	-20,528
	リース負債	6,529	6,447	-82
	SVFにおける外部投資家持分	44,994	46,945	+1,951
	デリバティブ金融負債	8,994	412	-8,581
	その他の金融負債	585	570	-15
	繰延税金負債	18,286	12,530	-5,755
	その他の非流動負債	2,549	3,120	+571
負債合計		332,872	334,871	+1,999

## ① SBG

借入金\* : 4,630億円 (+811億円)  
社債\* : 6兆1,476億円 (+3,946億円)

## 資金調達を行う100%子会社

借入金\* : 2兆2,706億円 (+2,052億円)  
株式先渡契約金融負債\* : 5兆1,725億円 (+9,089億円)

## SVF

借入金\* : 5,479億円 (-7,748億円)

\*流動+非流動。詳細はFY23決算短信p34-35参照

② 金融機関からWeWorkへの支払保証枠に対するSVF2によるクレジットサポートに係る引当金(金融保証契約損失評価引当金)の減少 : -1,524億円 (FY23Q3の保証義務履行に伴い認識した貸付金に対し当該引当金を充当した結果。同貸付金のFY23末残高は0円)

③ SBGによる法人所得税の支払い

④ 円安影響により帳簿価格が増加

⑤ アリババ株式先渡売買契約に係るデリバティブ金融負債の減少 : -8,050億円 (同社株価が下落したことなどにより減少)


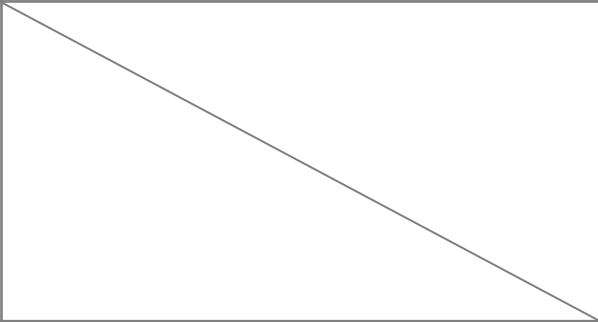

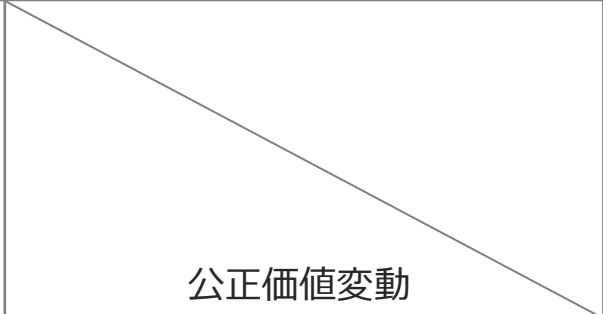

⑥ 当社100%子会社でのアリババ株式を利用した先渡売買契約に関連して、アリババ株式・関連するデリバティブに係る将来の課税見込みに基づきFY22末に計上していた繰延税金負債を、当該先渡売買契約の現物決済の完了に伴い当期に取り崩し

(億円)

B/S項目	主な科目	2023/3月末	2024/3月末	増減
		106,492	132,372	+25,880
資本合計	資本金	2,388	2,388	—
	資本剰余金	26,528	33,261	① +6,733
	その他の資本性金融商品	4,141	1,932	② -2,209
	利益剰余金	20,062	16,330	③ -3,733
	自己株式	-388	-227	+161
	その他の包括利益累計額	37,568	57,938	④ +20,370
	親会社の所有者に帰属する持分合計	90,298	111,621	+21,323
	非支配持分	16,194	⑤ 20,750	+4,557
親会社の所有者に帰属する持分比率 (自己資本比率)		20.6%	23.9%	+3.3%

- ① アームの上場に伴う売出しによる売却益相当額：+6,744億円
- ② 米ドル建ノンコール6年永久ハイブリッド社債を償還：-20.0億米ドル
- ③ 親会社の所有者に帰属する純損失：-2,276億円
- ④ 円安の影響で在外営業活動体の為替換算差額が増加：+2兆95億円  
(海外を拠点とする子会社・関連会社を円換算する際に生じる為替換算差額が、対米ドルの為替換算レートが円安となったことなどにより増加。詳細はp24-25参照)  
(参考) FY23の為替差損益(連結P/L)：-7,031億円(p14参照)
- ⑤ ・アームに係る非支配持分：2,368億円  
・SBKKが社債型種類株式を発行：+1,200億円

# P/L・B/Sへの円安影響（概念図）

エンティティー	種別	P/L 為替差損益	B/S 為替換算差額
SBG単体+ 国内資金調達子会社	外貨建現預金・ 貸付金 (投資を除く)	 為替差益 (p25参照)	
	外貨建負債 (借入金・社債)	 為替差損 (p25参照)	
機能通貨が外貨の 在外子会社・関連会社 (例：SVF1/2 & LatAmファンド、アーム)	純資産 (プラス)	 公正価値変動	 為替換算差額 (p23参照)

# FY23の円安影響 (2023年3月末¥133.53/\$ → 2024年3月末¥151.41/\$)

## FY23 連結P/L 為替差損：7,031億円

SBG単体 グループ会社からの外貨建借入に係る為替差損：9,822億円、外貨建社債に係る為替差損：741億円 (米ドル建永久ハイブリッド債を含まない)

(参考) SBG単体残高	FY22末 期末日レート：¥133.53/\$	FY23末 期末日レート：¥151.41/\$
外貨建負債 (借入金・社債) (グループ会社からの借入を含む)	\$71.8B	\$51.2B
外貨建現預金・貸付金等 (投資を除く)	\$23.8B (うち、現預金\$20.0B、貸付金\$3.7B)	\$13.8B (うち、現預金\$9.9B、貸付金\$3.9B)
ネット (負債)	\$48.0B	\$37.4B

## FY23末 連結B/S 為替換算差額残高：57,945億円 (FY22末比+20,095億円)

主に子会社株式・関連会社への投資に関わるもの

(参考) 子会社純資産	FY22末 期末日レート：¥133.53/\$	FY23末 期末日レート：¥151.41/\$	増減	連結B/S 為替換算差額増減 ( (B) - (A) x FY23の 期中平均レート ¥144.40/\$ ) <sup>*1</sup>
SVF1/2 & LatAmファンド (外部投資家持分および アーム株式簿価を控除後)	\$42.1B 56,246億円	\$58.6B 88,723億円	+\$16.5B <sup>(A)</sup> +32,477億円 <sup>(B)</sup>	+8,686億円
SBGC <sup>*2</sup> (アーム株式簿価を控除後)	\$33.6B 44,885億円	\$18.3B 27,635億円	-\$15.4B <sup>(A)</sup> -17,250億円 <sup>(B)</sup>	+4,933億円
アーム	\$28.7B 38,378億円	\$29.5B 44,604億円	+\$0.7B <sup>(A)</sup> +6,225億円 <sup>(B)</sup>	+5,189億円

\*1 連結上の内部取引も考慮している。

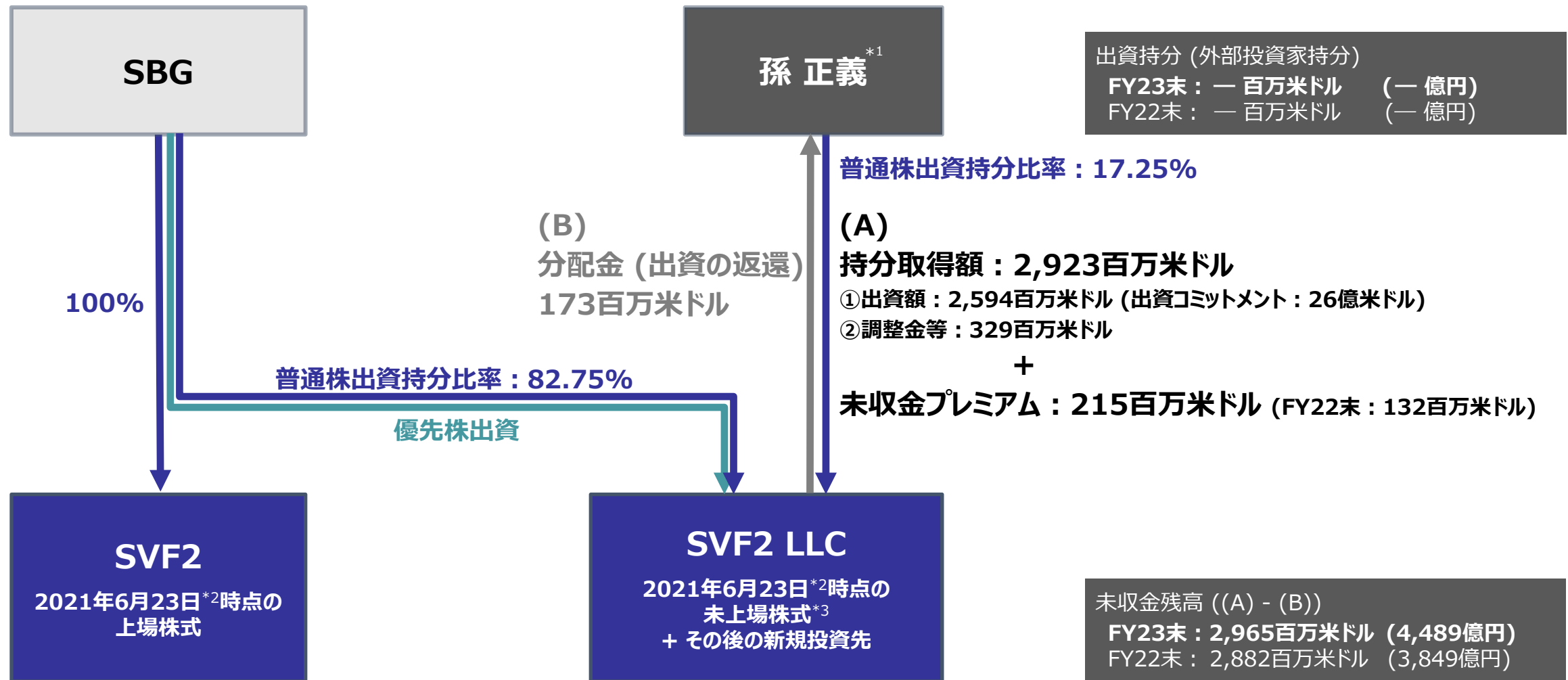
\*2 SoftBank Group Capital Limited

(億円)

C/F項目	FY22	FY23	FY23の主な内訳	
営業活動によるCF	+7,413	① +2,505	+12,417	営業キャッシュ・フロー小計
			-8,856	法人所得税の支払額
			+688	法人所得税の還付額
投資活動によるCF	+5,476	-8,415	② -8,009	投資の取得による支出
			-2,120	SVFによる投資の取得による支出
			+9,220	SVFによる投資の売却による収入
			-1,045	子会社の支配獲得による支出
			+968	子会社の支配喪失による収入
			-6,226	有形固定資産及び無形資産の取得による支出
			③ -3,137	貸付による支出
財務活動によるCF	+1,915	-6,062	④ +59,141	有利子負債の収入
			⑤ -58,892	有利子負債の支出
			-7,835	SVFにおける外部投資家に対する分配額・返還額
			⑥ +7,476	非支配持分への子会社持分の一部売却による収入
			⑦ -2,778	その他の資本性金融商品の償還による支出
			⑧ +1,200	子会社におけるその他の資本性金融商品の発行による収入
			-2,881	非支配持分への配当金の支払額
			現金及び現金同等物に係る換算差額等	+2,758
現金及び現金同等物の増減額	+17,562	-7,383		
現金及び現金同等物の期首残高	+51,690	+69,252		
現金及び現金同等物の期末残高	+69,252	+61,869		

- 法人所得税の支払いや、SB Northstarにおける社債の取得による支出があったものの2,505億円のキャッシュ・イン・フロー（純額）  
・法人所得税の支払額：-8,856億円  
**FY22のアリババ株式の売却に伴う利益計上やFY23Q3の法人所得税1,180億円の中間納付などにより、FY23にSBG単体が3,686億円の法人所得税を支払い済**
- ・SBGおよび100%子会社：-3,119億円（戦略投資中心）  
・PayPay銀行：-3,084億円（債券などの資産運用商品を取得）
- 金融機関からWeWorkへの支払保証枠に対するSVF2によるクレジットサポートについて保証義務を履行
- SBG**  
短期借入：+5,361億円、ハイブリッドローン：+531億円  
国内ハイブリッド社債発行：+2,220億円、国内普通社債発行：+5,500億円  
**資金調達を行う100%子会社**  
上場後のアーム株式を利用したマージンローンによる借入：+85.0億米ドル  
アリババ株式先渡売買契約の締結：+43.9億米ドル  
**SBKK**  
割賦債権の流動化、セール&リースバックなど：+9,644億円
- SBG**  
短期借入金返済：-5,066億円  
社債の償還、買入れ：-5,806億円  
**SVF**  
アセットバック・ファイナンスによる借入金返済：SVF1 -41.6億米ドル、SVF2 -21.9億米ドル  
**資金調達を行う100%子会社**  
アーム株式を利用したアセットバック・ファイナンスによる借入金返済：-85.0億米ドル  
**SBKK**  
割賦債権の流動化、セール&リースバックなどによる借入金返済：-1兆2,151億円
- アームの新規株式公開における売出しによる手取金：+51.2億米ドル
- 米ドル建ノンコール6年永久ハイブリッド社債償還：-20.0億米ドル
- SBKKが社債型種類株式を発行：+1,200億円

# SVF2共同出資プログラム：関連当事者との取引



(注) 関連当事者との取引の詳細はFY23決算短信p75-76参照。

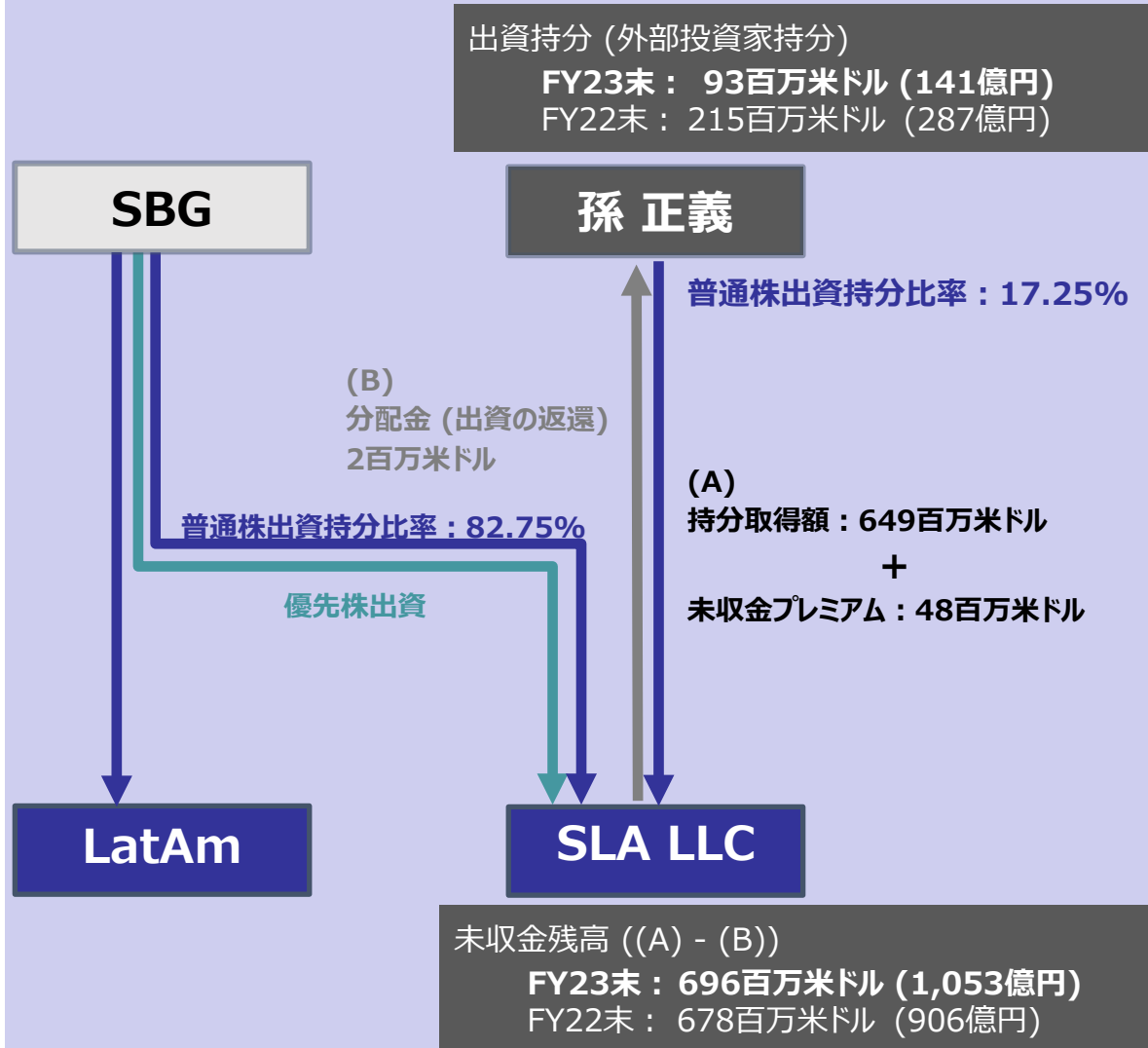
\*1 孫正義以外の経営陣の参加は現時点では未決定だが、将来的に参加を予定。

\*2 2021年6月23日はSBG取締役会において本共同投資プログラムが条件付きで承認された日。

\*3 2021年6月23日時点で上場済または上場発表済の投資先、並びに、SBG取締役会で本プログラムの対象から除外することが承認された投資先を除く。

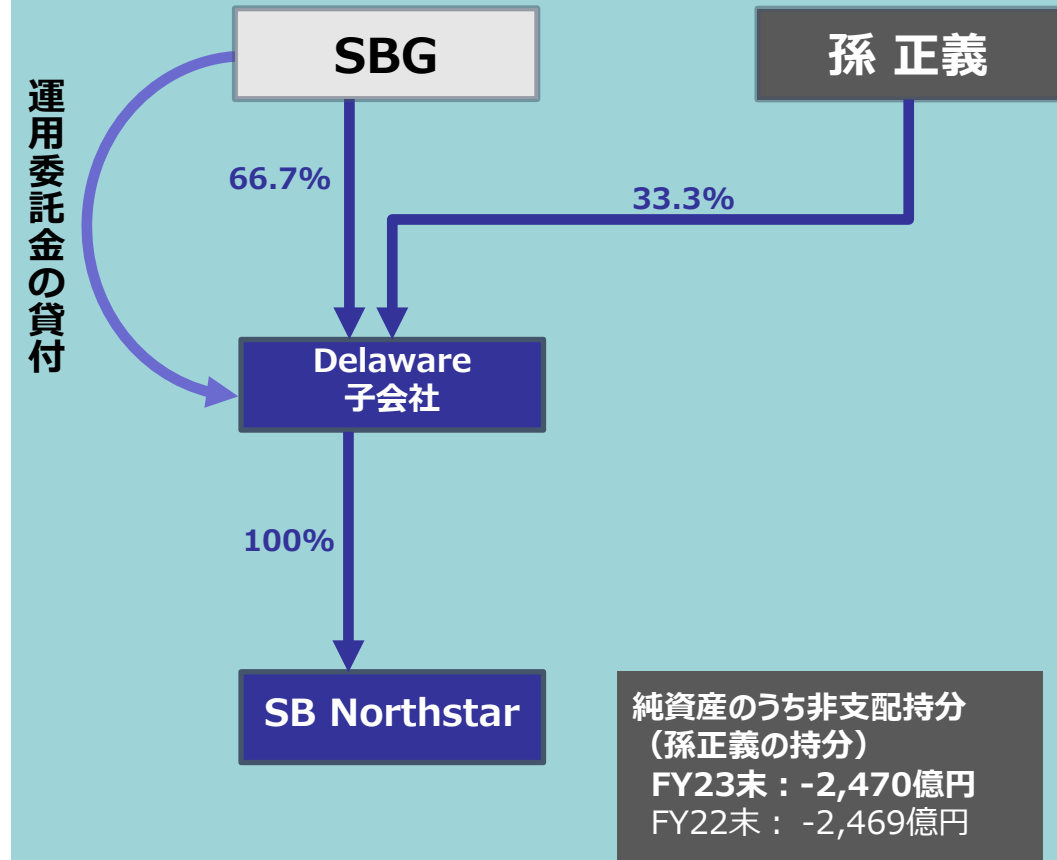
# LatAm共同出資プログラムおよび資産運用子会社へのマネジメント出資

## LatAm共同出資プログラム



(注) 詳細はFY23決算短信p77-78参照。

## 資産運用子会社へのマネジメント出資



(注) 詳細はFY23決算短信p13参照。  
 FY23末の貸付に係る利息等を含む非支配持分 (孫正義の持分) は-4,094億円。

# **Appendix**



# アームIPOの会計処理

- 2023年9月、アームIPOにおいてSBGの100%子会社がアーム株式の10%\*を売出し、手取金51.2億米ドルを受領。SBG連結上の売却益相当額は46.5億米ドル
- SBGは本売出し後もアーム株式の90%\*を継続保有するため、アームは引き続き子会社として連結

連結P/L	連結B/S	連結C/F
<b>影響なし</b> IPO後も子会社継続のため、売却益は計上されない ✓ アーム株式はFVTPLの金融資産ではなく子会社であるため、毎四半期末の株価の変動は連結業績に影響せず ✓ アームの純利益のうち10%は非支配持分に帰属	<b>資産の部 +51.2億米ドル</b> 現金及び現金同等物 +51.2億米ドル ✓ 売出しに伴う手取金の受領  <b>資本の部 +51.2億米ドル</b> 資本剰余金 +46.5億米ドル ✓ 売却益相当額が「支配継続子会社に対する持分変動」として計上  非支配持分 +4.7億米ドル ✓ 10%持分を売却後も、のれんは全額SBGに帰属。のれんを除く連結簿価のうち10%が非支配持分の増加	<b>財務活動によるCF +51.2億米ドル</b> 非支配持分への子会社持分の一部売却による収入 +51.2億米ドル ✓ 売出しに伴う手取金の受領

\* 2023年9月末の同社発行済株式総数（自己株式を除く）1,025,234,000株に基づき算出

# SBG短信アーム事業とアームForm F-1とのブリッジ (FY22業績)

	SBG短信 アーム事業 (IFRS)		調整項目① SBGがアーム買収時 に行った取得原価配 分により計上した無 形資産の償却費	調整項目② 会計基準の差 (IFRS vs US GAAP)	調整項目③ アームがF-1作成時 に入手可能な最新 の情報を反映	アーム Form F-1 (US GAAP)	
	¥M	\$M	\$M	\$M	\$M	\$M	
<b>売上高</b>	<b>381,746</b>	<b>2,817</b>	-	-	-138	<b>2,679</b>	<b>Total revenue</b>
売上原価		-105	-	0	-1	-106	Cost of sales
営業費用		-2,399	451	113	-67	-1,902	Operating expenses
その他損益		50	-	-37	-13	0	Other income/loss
<b>セグメント利益 (税引前利益)</b>	<b>48,663</b>	<b>363</b>	451	76	-219	<b>671</b>	<b>Income (loss) before income taxes</b>

- Ⓐ 主な要因：株式報酬に係る会計処理の違いによる影響
- Ⓑ 主な要因：一部の投資有価証券の公正価値変動をIFRSではその他包括利益（OCI）で計上、米国会計基準ではP/Lで計上
- Ⓒ 主な要因：F-1作成時に入手可能な最新の情報をロイヤルティ収入に反映
- Ⓓ 主な要因：引当金や株式報酬の計上についてF-1作成時に入手可能な最新の情報を反映

(注) 上記の表において売上高を除くセグメント利益の構成要素は、当該ブリッジの目的としてのみ使用